



コミュニケーションが活性化する FirstClassの新しいソーシャルメディアツール

ビショップ アラーソン カトリックスクール & 人文科学カレッジ

2008年以前、コベントリーにあるビショップ アラーソン カトリックスクール & 人文科学カレッジは、コミュニケーションとオンラインラーニングの要望に対応するために、EラーニングシステムとWebベースのEメールシステムを組み合わせて使用していた。この学校のITマネージャであるジョン・ナーサル氏によると、この2つのシステムはほとんど利用されておらず、使用していたEラーニングシステムにはいくつかの問題があったという。

ビショップ アラーソンが本当に必要としているのは、一連のコミュニケーションツールであり、VLE (Virtual Learning Environment) として利用できるものだ。この用途に対応できそうなソリューションをいくつか検討した結果、主に低コストで使いやすいという理由によりFirstClassを選択することとなった。さらに利点となったのは、以前から利用していたオンラインレポートシステムと、FirstClassがスムーズに統合できたことだ。

「コミュニケーションを深めつつ、教職員と学生がカリキュラムを共有して授業を管理することが非常に簡単なので、とても良いと思います。」

ビショップ アラーソン
カトリックスクール
ITマネージャ
ジョン・ナーサル氏



現在、1,200人の教職員や学生がFirstClassを使用しており、近々保護者もシステムを利用できるようにする計画が進められている。保護者は、学生のレポートにアクセスしたり、日々の出席状況を確認したりできるようになり、家と学校の結びつ

きを強めることができる。ナーサル氏は次のように話した。「コミュニケーションを深めつつ、教職員と学生がカリキュラムを共有して授業を管理することが非常に簡単なので、とても良いと思います。」

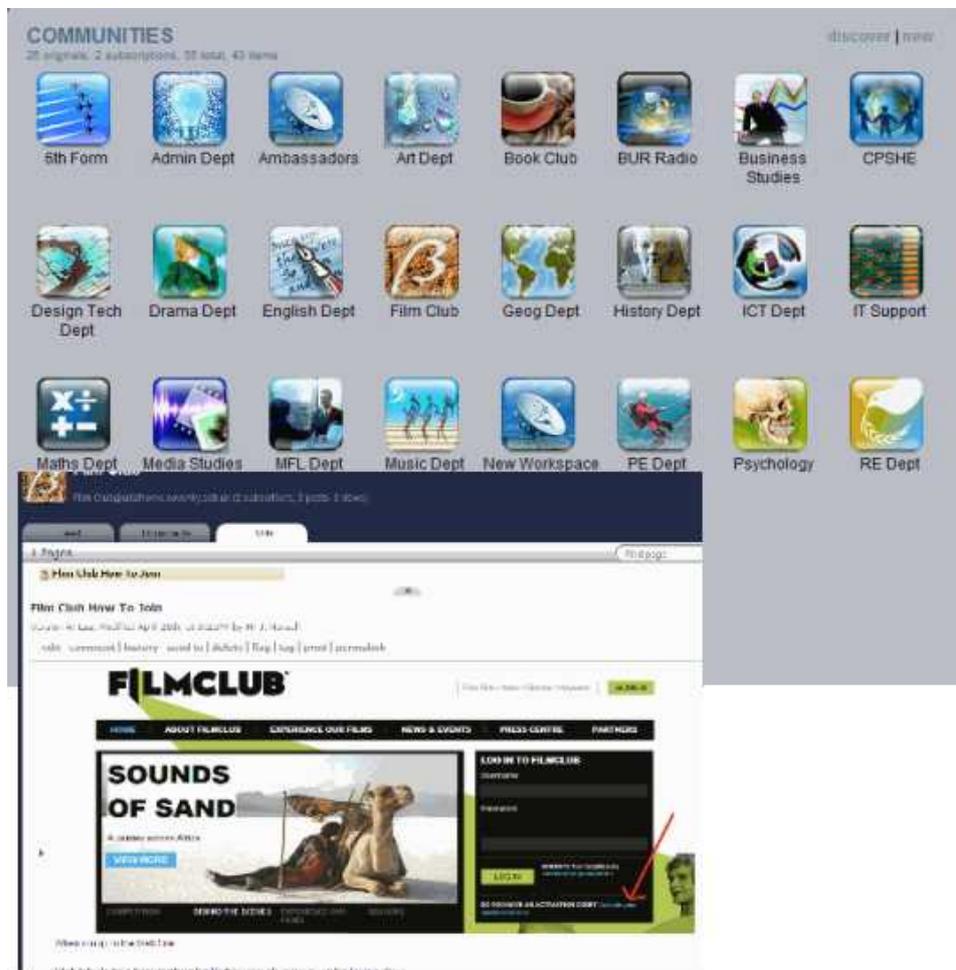
FirstClassにはとても多くの使い方があり、私たちは常に新しい利用方法やFirstClassを利用した新しい企画を発見しています。例えば、私たちは学校放送を行うためにポッドキャスト機能を利用しています。また、病気で長期欠席している学生が授業の資料や課題を受け取ることができるように、リモートアクセスの機能を利用しています。さらに、技術サポートを受けるエリア、スタッフのディスカッションエリアとして、コラボレーティブフォーラムを利用しています。」



コミュニケーションが活性化する FirstClassの新しいソーシャルメディアツール

FirstClass 10のリリースにともない、様々なソーシャルネットワークツールがFirstClassに追加されました。ピショップ アラーソンはこれらの新しいWeb 2.0テクノロジーを取り入れ、イースター休暇中に教職員と学生が利用可能な状態にすることを熱望していました。「FirstClassの新しいソーシャルネットワーク機能は私たちのユーザコミュニティで、すぐに好評を得ました。」と、ナーサル氏と言う。「教職員や学生の間であまりにも早く受け入れられ、本当に驚きました。彼らにとって非常に使いやすく、運用しやすいものだったのです。私の考えでは、安全で管理しやすいことが最大の利点だと思います。ユーザはFirstClassのユーザ名とパスワードでWebベースのコミュニティにアクセスするだけでよく、新しいコミュニティでの権限設定すべてに、既存のFirstClassの権限設定が適用されます。」

「FirstClassにはとても多くの使い方があり、私たちは常に新しい利用方法やFirstClassを利用した新しい企画を発見しています。」



各部門は既に独自のコミュニティを作成し、学生やスタッフがアクセスできるようになっていた。そこには、そのサブジェクトに関連するドキュメント、ビデオクリップ、ブログ、wikiなどが投稿されている。例えばフィルムクラブなど、課外クラブ用のコミュニティも既に作成されていた。学生やスタッフは特定のコミュニティを「フォロー」し、そのコミュニティ内で起こるすべてのことの最新情報を得ることができる。



コミュニケーションが活性化する FirstClassの新しいソーシャルメディアツール

とりわけ評判が良いのは「Ambassadors(みんなの大使)」コミュニティだ。選ばれた学生の代表者たちは、学校への意見をこのコミュニティに投稿することができる。投稿された意見は、とても多くの学生や教員たちが共有して閲覧している。教員は、その意見を指導方法の改善に役立てることができる。



「他の学校でも、私たちの様にFirstClassを活用してほしい。」

ビショップ アラーソンは、学生達が独自のコミュニティを作成して管理することを許可している。学生達は所有する責任を学びつつ、学校コミュニティに寄与する権限が与えられているのだ。特筆すべきことは、完全にセキュアな環境で学生たちにWeb 2.0のツールを使わせることで、教育をより効果的に進めることができることが確認できたことだ。



ナーサル氏は、次のようにまとめた。「FirstClassの新しいソーシャルメディアツールは、真新しい世界を提供し、我が校のコミュニケーションの道を開きました。学校と個々の部門の間で強力なコミュニティの絆を創り上げ、同様に(保護者や、事業ごとの学習パートナーなどの)外部のステークホルダーと学校との強力な関係も築くことができたのです。今後は、主にiPhoneやiPadで利用できるモバイルアクセスオプションの利用拡大についても、検討を進めていきます。」